

# 管内の土壌分析について (みかた営業部管内)

# 11月の農作業

# 管内の土壌分析について (ちくさ営業部管内)

# 11月の農作業

## みかた

分析試験項目 試料名	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)	電気伝導率 (EC) (mS/cm)	カルシウム (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)	CEC (陽イオン交換容量) (meq/100g)	リン酸 (mg/100g)	腐植 (%)	
項目の説明	土壌酸度を表している。 pH ← 7.0 → 酸性 アルカリ性	土壌中の肥料の多さを示している。	細胞と細胞の中にあるその生成と強化に関係している。	リン酸吸収を助ける。	根の発育を促進させる。	保肥力を表し、数値が高いほど保肥力が高い。	作物の根や茎の生育を促進させる。	地力の維持に必要。	
目標値	6~6.5	0.2~0.4	200~250	25~35	20~30	12以上	10~30	3~5	
圃場名(平均)	福中	6.1	0.05	167.5	18.0	16.4	10.8	18.0	2.8
	福知	6.3	0.06	247.5	22.8	21.8	15.0	22.8	3.6
	生栖	6.2	0.04	192.5	17.3	17.8	11.5	21.5	3.1
	楽里	5.6	0.05	177.5	18.0	14.8	12.3	6.5	2.6
	西深	6.0	0.04	175.0	16.3	16.5	11.3	10.5	2.7
	深河谷	6.3	0.06	217.5	21.5	16.0	12.0	13.3	2.6
	三方町	6.2	0.06	225.0	22.5	68.3	13.8	28.5	3.1
	森添	6.2	0.07	236.7	24.3	75.7	15.0	33.0	3.6
	東公文	6.0	0.05	191.7	23.3	21.5	13.3	14.3	3.4
	西公文	5.6	0.05	144.3	13.9	24.9	13.0	12.2	6.4
	河原田	5.9	0.06	210.0	23.4	72.2	15.4	17.8	4.5
	福野	5.9	0.08	237.5	25.5	23.3	15.3	13.8	4.5
	上岸田	6.2	0.05	240.0	27.6	14.7	14.0	14.4	3.0
	百千家満	6.3	0.06	262.0	24.8	25.0	15.2	28.8	4.0
	草木	6.4	0.08	316.7	23.0	15.7	16.7	55.7	4.3
	千町	5.9	0.05	200.0	18.5	12.9	14.0	17.0	4.6
	黒原	6.3	0.05	286.0	26.0	15.6	17.4	9.4	4.6
井内	6.2	0.05	185.0	21.0	16.0	12.5	8.0	4.1	
横山	6.0	0.06	170.0	21.0	15.0	11.5	6.5	2.9	
倉床	6.1	0.10	265.0	26.0	14.5	16.0	13.0	4.8	
傾向と対策	酸性が少し強いので、石灰を施用する。	基準値より少ないので施肥基準を守る。	基準値以下の箇所が多いので石灰を施用する。	基準値以下の箇所が多いので苦土重焼燐を施用する。	基準値を下回っているため、カリ肥料を施用する。	有機物の施用で保肥力が維持できるので堆肥やアツミンを施用する。	基準値内の箇所が多いですが苦土重焼燐を施用する。	地力は基準値以上ですが、地力維持のために有機物を施用する。	

## ちくさ

分析試験項目 試料名	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)	電気伝導率 (EC) (mS/cm)	カルシウム (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)	CEC (陽イオン交換容量) (meq/100g)	リン酸 (mg/100g)	腐植 (%)	
項目の説明	土壌酸度を表している。 pH ← 7.0 → 酸性 アルカリ性	土壌中の肥料の多さを示している。	細胞と細胞の中にあるその生成と強化に関係している。	リン酸吸収を助ける。	根の発育を促進させる。	保肥力を表し、数値が高いほど保肥力が高い。	作物の根や茎の生育を促進させる。	地力の維持に必要。	
目標値	6~6.5	0.2~0.4	200~250	25~35	20~30	12以上	10~30	3~5	
圃場名(平均)	千草	5.6	0.05	151.5	17.7	11.2	10.0	11.7	4.8
	岩野辺1	5.5	0.05	130.1	14.3	10.3	9.4	10.7	4.4
	岩野辺2	5.5	0.04	120.6	13.7	9.8	9.2	8.6	4.0
	内海	5.4	0.04	89.5	10.2	9.9	7.5	7.5	3.6
	河呂	5.6	0.05	138.6	18.1	11.6	12.0	9.6	9.0
	河内	6.1	0.07	166.8	16.2	9.7	12.2	7.2	7.8
	西河内	5.8	0.06	127.7	14.6	7.4	10.3	7.5	5.3
	奥西山	5.7	0.05	118.2	12.4	11.0	9.6	7.8	3.5
	西山	6.1	0.06	215.0	23.3	9.6	13.8	17.5	3.9
	室	5.7	0.06	150.0	15.5	10.4	11.0	14.0	6.4
	七野	5.5	0.06	132.3	18.3	12.3	9.6	7.8	4.5
	下河野	5.7	0.06	171.0	18.2	11.9	11.3	11.2	3.4
	黒土	5.4	0.06	134.2	17.8	12.8	10.6	12.4	3.6
	鷹巣	5.5	0.06	152.0	12.8	15.6	13.2	5.0	7.9
	傾向と対策	酸性が少し強いので、石灰を施用する。	基準値より少ないので施肥基準を守る。	基準値以下の箇所が多いので石灰を施用する。	基準値以下の箇所が多いので苦土重焼燐を施用する。	基準値を下回っているため、カリ肥料を施用する。	有機物の施用で保肥力が維持できるので堆肥やアツミンを施用する。	基準値内の箇所が多いですが苦土重焼燐を施用する。	地力は基準値以上ですが、地力維持のために有機物を施用する。